

# こらびい

vol.43  
2020年春号



今回の写真  
子育て支援サークル「あそびのいっぽ」

## 活動お役立ち情報

### ▼①②共通問合せ：

大府市役所 市民協働部 協働推進生涯学習課 協働推進係  
〒474-8701 大府市中央町五丁目70 番地  
TEL 45-6215 (FAX) 47-9996  
E-Mail kvodo@city.obu.lg.jp

### ①NPO 法人立ち上がり支援事業補助金

期 日：4月24日（金）×切  
対 象：所轄庁へ法人設立の認証申請を行った団体、またはNPO法人設立  
認証取得後3年以内の団体で、条件あり。  
内 容：NPO法人立ち上がりのために必要な事務所の賃料、  
光熱水費などの経費が対象。

### ②協働企画提案事業交付金

期 日：4月24日（金）×切  
対 象：市内に活動拠点を有し、営利を目的としない市民活動を行う  
団体であることなど条件があり。  
内 容：公益的及び社会貢献的な事業であること。健康づくり、子育て  
支援、環境美化、障がい者福祉などの『地域課題の解決』

## 伝言板

### ●新型コロナウイルス 感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染拡大防止  
対策として、「コラピアまつり」  
も「東日本大震災復興支援イベント 第8回 心ひとつに3.11」も、  
今年は開催中止となりました。  
皆さんの活動も思う様にならない  
ことでしょう。少しでも早い終息  
を祈るばかりです。  
ただいまコラピアの利用が一部制  
限されています。それに伴い、コ  
ラピア会議室使用料の返金に  
応じています。窓口までお申し出  
ください。詳細は中面「コラピアNEW  
S」をご覧ください。

### ●エンジョイ！コラピア2020 企画運営者募集

テーマに沿った内容で大人や子  
ども、親子を対象とした講座やラ  
ンチ、工作体験などを企画し、イ  
ベント開催期間中に企画運営者  
として参加できる団体、または個人  
を募集します。今年のテーマは  
「記憶に残る感動を！」  
4月11日（土）よりコラピア窓口  
で受付を開始します。

### ●会議室ご利用時間のお願い

会議室をご利用の際には、準備  
から片付けまでの時間を含めた時  
間を予約して下さい。  
皆さんに不公平なく平等に使っ  
ていただくため、ご理解ご協力  
をお願いします。

## fromスタッフ

寒い冬が終わり暖かい春がやってきましたが  
今年は少し違います。  
コロナで世間がざわめき、各イベントや  
行事などが相次ぎ中止になりました。  
コラピアでもまつりが中止となっ  
てしまいとても残念でした。また、休館が  
決まり日頃会議室利用の方やこらび  
庵に来館されるお客様が来館され  
ないと火が消えてしまった様な館  
内で、寂しく感じます。早くコ  
ロナが治まり館内が笑顔で活  
気あるコラピアに戻って欲しい  
です。

こらび庵も  
早く再開でき  
るといいな



とっこちゃん

## 大府市民活動センター【コラピア】情報誌 ころびい

- 発行/大府市民活動センター【コラピア】
- 指定管理者/認定特定非営利活動法人 受知ネット
- 所在地/大府市森岡町四丁目8番地
- 開館時間/午前9時～午後10時
- 休館日/1) 月曜日 2) 8月13日～8月15日 3) 12月28日～翌1月4日
- 連絡先/大府市民活動センター 電話：0562-44-8500 FAX：0562-44-8511

## Contents

- 2-3 団体PICK UP  
子育て支援サークル「あそびのいっぽ」
- 4 コラピアNEWS、ご案内
- 5 スタッフのおでかけ日記
- 6 活動お役立ち情報、fromスタッフ、伝言板

ホームページ、Facebookも  
ご覧ください



## 子育て支援サークル「あそびのいっぽ」

子育て支援は、親の支援だと思う。  
親がホッとできる時間を作りたい。



子育て支援サークル  
「あそびのいっぽ」代表  
大橋 房代さん

親子向けのイベントや、学習支援、フードドライブ活動など、育児支援サポートを精力的におこなっている子育て支援サークル「あそびのいっぽ」。

毎月第1水曜日には、あいち健康の森公園で、電子ピアノの生演奏と共に季節の絵本の読み聞かせや手遊び、歌などを行う育児ラウンジを開催しています。  
代表の大橋房代さんにお話をお伺いしました。

### ■読み聞かせの絵本に登場する椿の花を飾るといのは、考えられていますね。

場所が公園なので、できる限り公園にある植物や生き物などを取り入れることと季節を感じられることを意識しています。

というのも、小さい子供って絵本で読んだものと、実際に目で見た実体験の2つを経験することによって、その子の心と想像力がすごく伸びると私は思っています。

この公園という場所を生かして、そういう本物と絵本の世界を結び付けられるような会にしたいと毎回思っています。



ラウンジでまず目に飛び込んできたのが  
真っ赤な椿の花。

### ■遊びだけではなく、学びの要素があることが素晴らしいですね。学びに対するこだわりは？

家に帰ったときに、こんな発見があった、こんないい出会いがあったと何か心に持ち帰れることがあるといいなと思って、子どもは遊びの中から様々なことを吸収していくので、ただの遊びではなく、考えられた遊びを提供できるようにプログラムを考えています。

### ■「あそびのいっぽ」という団体名にも何か思いが込められているのでしょうか。

子どもは遊びが全て。楽しい!やってみよう!知りたい!と思ったことをやってみる遊びの経験を通して成長していけることが一番大切だと思います。親子で楽しい時間を共有してほしい。

そして、お母さん自身も、一歩外に出ていろいろな親子と関わり合う、もしくは地域社会と関わり合う機会を通して新たな一歩を踏み出して欲しいという思いも込めています。



子どもも親も楽しめる読み聞かせタイム

### ■読み聞かせに参加しているお母さんたちが優しい表情なのがとても印象的でした。

子育て支援は、親の支援だと思うんですよ。子どもだけの支援ではなくて、子どもを育てる親を支えることが、本当の子育て支援だと思うんですよ。

お母さんが笑顔だと必ず子どもも笑顔になるので、やっぱりお母さんがホッとできる、楽しい、リラックスできたと思える時間を作ることが支援につながるのかなと思ってやっています。

### ■そもそも「あそびのいっぽ」を立ち上げたきっかけは何でしたか。

東日本大震災の時、「赤ちゃん連れの私でも今できることはなんだろう」とすごく考えるようになりました。何か災害が起きたときに、力になるのは地域の人たちだと思うんですね。だから地域の人たちとつながって地域のために私が今まで受けた恩返しをすることが今の私にできることじゃないかと思って立ち上げました。



「もったいない」を「ありがとう」に、  
集まった食品の寄付

### ■2018年秋からは、フードドライブも始められましたね。

きっかけは、やはり地域の人たちとの繋がりがからでしょうか。

はい。「あそびのいっぽ」の音楽会に毎回参加してくれるママから、「知り合いの家庭が食事に困っていて支援してくれるところを探している」と相談を受けました。調べたところ、大府市内でフードバンク・フードドライブ活動をしているところはありませんでした。もともとフードドライブ活動に興味があったので取って置いた資料を読み返し、「私のサークルで始めれば助けてあげることができる」と、思いきって始めることにしました。

### ■地域であそびのいっぽのフードドライブ活動が少しずつ浸透してきていますね。

とても多くの方に寄付していただいています。匿名で寄付して下さる方の熱い思いには涙がでました。毎年秋に新米をくれる方、大府の名産ぶどうをくれる方、クリスマスにお菓子をくれる方、本当に感謝しています。

どの方からも「とてもいい活動だから応援させて」「大変だと思うけど、活動を続けるんだよ」と温かい言葉をいただきました。

また、寄付を届けているご家庭からは、「母子家庭のため、食事を与えることで精一杯で子どもがお菓子や果物をほしがっても買ってあげることができず我慢させていました。そんな中、フードドライブでお菓子、果物、お米などをいただき本当にありがたく感謝しています。同じ境遇のご家庭の方々のためにも、これからもこの活動が継続されることを願っています」と手紙をいただきました。

### ■皆さんからの言葉が活動の力になりますね。今後のフードドライブ活動は？

4月以降は、大府市長草町にある大府福祉会「あけびの実」で、寄付の受け入れを始める予定です。しかし、ボランティア活動としてフードドライブを継続していくには限界があります。

毎月11日、大府市のマックスバリュ大府店とイオン大高店で『イオン幸せのイエローシートキャンペーン』に参加していますので、お買い物をする機会がありましたら、黄色いシートを子育て支援サークル「あそびのいっぽ」のボックスに入れて応援していただくと幸いです。レシートの買い物金額の1%分が団体に寄付されるので、すべてフードドライブの費用に使わせていただきます。

みなさまの温かい善意をお待ちしています。

### ■最後に、子育て支援サークル「あそびのいっぽ」としての今後の展開は？

子育て支援の対象の幅を広げたいです。小中学生のお母さんたちが、学区も関係なく、「こんな時どうしてる?」「今困っていることがあるのだけれど」と気軽に言えるような場所を作っていきたいと思っています。



ホッとひととき絵本時間リラックス

### ■ぜひ、実現していきたいですね。今日はありがとうございました。

お話を伺い、「今自分にできること」がひいては地域のためになっていくのだと感じました。まずは、自分のこと・身近なことに目を向けていきたいですね。



文：まっちゃん

※イベントは、参加無料・予約不要です。

### 子育て支援サークル「あそびのいっぽ」

代表：大橋 房代さん  
電話：0562-48-4301  
E-mail: asobinoippo@yahoo.co.jp  
blog: <http://ameblo.jp/asobinoippo/>

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント開催が変更になる可能性があります。お出かけ前、ご確認ください。

### ◎あいち健康の森公園「健康の森育児ラウンジ」

10:00～ 絵本の読み語り、健康の森公園で見られる植物、生き物の観察  
10:30～ ママの時間  
◆毎月第1水曜日 10:00～11:30  
※本日は、5月13日(水)です。(2週目)  
◆会場：あいち健康の森公園 交流センター北館

### ◎図書館での絵本おはなし会

絵本の読み聞かせ、手遊びなど  
◆毎月第2水曜日(6月から) 11:00～11:30  
◆会場：アローブ図書館内おはなし広場

**※重要** **コラビア一部利用制限期間延長・返金及び4月こらび庵中止のご案内**

● **一部利用制限対象期間：2020. 4/12(日)までのコラビア利用**

◆利用不可

- ・交流スペース
- ・会議室
- ・団体活動室
- ・中央スペース

◆利用可能

- ・市民活動・ボランティア活動に関する相談（来館・電話）
  - ・会議室等の予約やキャンセル（来館・電話）
  - ・印刷室のご利用（短時間で少人数での作業と制限させていただきます）
- ※月曜日は休館日です。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、上記期間施設を一部閉鎖いたします。4月13日以降の対応は未定で、今後の状況次第では変更や延期等もございます。改めてお知らせいたします。また、これに伴い**4月中のこらび庵を中止**とさせていただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ございませんがどうかご理解の程よろしくお願い致します。ご不明な点はコラビアスタッフまでお問合せください。

● **使用料返金対象期間：2020. 5/31(日)までのコラビア利用**

上記期間についてコラビア利用をキャンセルされる場合、使用料の返金に致しますので、**4月26日(日)**までに窓口にお申し出ください。

▼注意事項

- ・返金は後日対応になります。返金に際してはコラビアスタッフから連絡いたします。
- ・返金には、お支払い時に記入したセンター**利用申請書**の控えが必要です。

**／ご報告／**

**車座集会 テーマ別交流会 こらび庵活動を知ろう**

- 日時：1月19日(日) 10:00~12:00
- 参加者：20名(こらび庵ワンデイシェフ、一般)

日頃こらび庵で活動をしているシェフさん達に活動のきっかけ、楽しさ困りごとなどを聞きました。その後「食」をテーマに、一般の参加者の方々とコラビアで何をしたいかや、「エンジョイ!コラビア」でどんな企画ができるかなどの意見交換をしました。おいしい試食もあり、話はとても盛り上がりました。「シェフの率直な意見を聞かせて頂き、次に食べに来るのがより楽しみになります。」という意見もありました。



**／ご案内／**

**スキルアップ講座 言葉を絵にする!グラフィックレコーディングを学ぼう**

「会議の中でメンバーと話が合わない。」「自分が言いたいことをうまく伝えられない。」「そんな時はグラフィックレコーディングという手法を使うと議論が見える化することができるんです。話し合いや会議の内容をより深める技術を学びます。学生、社会人、ボランティアにもおすすめのグラレコ初心者向けの講座内容です。

- 参加費 100円(お茶代として) ■定員 20人程度(先着順)
- 対象 どなたでも ■申込 電話または直接コラビアへ

※新型コロナウイルスの影響により、日程等が変更になる可能性があります。

**2020. 5/16(土)**  
**10:00~13:00**

■講師  
後藤 恵理香さん  
(Draw your Future)

**／ご案内／**

**車座集会**

**お家で死にたい、在宅看取り ~「後悔のない逝き方」をする生き方~**

大府市を拠点に在宅ホスピスケア専門に活動をされている医師と看護師の方をゲストスピーカーにお招きします。在宅医療の現状や事例などの話を聞いて、『後悔のない逝き方』をする為に、何が必要なのか?何をすればいいのか?これからどんな生き方をすればいいか?など、みんなで一緒に考えてみましょう!

**2020. 5/24(日)**  
**10:00~12:00**

- 参加費 100円(お茶代として) ■定員 30名程度(先着順)
  - 対象 どなたでも ■申込 5/2(土)から電話または直接コラビアへ
- ※新型コロナウイルスの影響により、日程等が変更になる可能性があります。

■ゲストスピーカー  
中島 一光さん・横江 由理子さん  
(いきいき在宅クリニック)



**スタッフのおでかけ日記**

**「知的障がいのある方の地域での暮らしを知ろう!」へGO!**



2月21日(金)社会福祉法人大府福祉会 あけび苑の「知的障がいのある方の地域での暮らしを知ろう!」という勉強会に行ってきました。今年で4回目です。毎年参加者が増え、今回は18名の参加者でした。

広く快適なお部屋の一角では、2歳くらいの可愛い子どもたちが自由にくつろいでいてほのぼの。それに加え、以前、グループホームで共に働いておられた方も出席されていて、とてもほんわかしたムードでスタートです。

まず初めに、大府にはそれぞれ目的に合わせた支援事業所がたくさんあることと、身近なところに障がいを持つ方が大勢いらっしゃることを知り、驚きました。

続いて「病氣と障がいの違いは何でしょう?」という講師の問いかけに積極的に答えている姿を見て、皆さんが真剣に考えていることが伝わります。一次的障がいは治すことは難しいが、二次的障がいは周りの人の理解や協力があれば、減らすことができるそうです。「できないことがあっても困る事のない社会!」少しでも近づけるようにみんなで目指しましょう!

印象に残ったのは、障がいで言葉が通じないことを理解するための疑似体験です。講師の方が、スワヒリ語で、「タバダハリクワエタジュヤダクワーティ」と繰り返すのですが、なにを求められているのか?何もできず、



ただ、困ってしまい、戸惑うばかりでしたが、指さしやジェスチャー、写真など使ってやっと「椅子を机の上にひっくり返して上げて。」と言っていたことが分かりました。言葉が通じないとこんなにも不便で、意思疎通ができないんだと実感。たくさんの人が、自分に出来ることを考えるのは大切ですね。

コーヒータイムには、あけびの実のクッキーやケーキが配られ、美味しくいただきました。楽しい時間と美味しいおやつをありがとうございました。

そして、毎朝のコラビアの水やりお掃除、ありがとうございます。

